

つなぐ・つながる

このコーナーでは、環境活動をしている団体、施設及び他団体との連携を紹介します。

創立十六年目の新年を迎えて

一般社団法人長野県環境保全協会
専務理事

宮島 和雄



茅野会長の挨拶

昨年十一月、十五年を迎えたことを記念して、講演会「触れる地球」



「触れる地球」に触れる参加者

こともできません。当日は台風三十号の大災害が伝えられていましたが、日本の本州に匹敵する巨大な渦が、フィリピンからインドシナ半島に向かう様子が手に取るように見えました。その他、

雲の衛星画像、昼夜境界、潮流等の自然現象に加え、クジラの移動、船舶の位置情報等生物や人間の活動状況までも間近に見ることが出来ました。講義でも地球上の現象が広範囲にわたって相互関連していること、台風のような自然災害をもたらす現象さえも、その裏で我々に恵みをもたらす側面を持つていること等、地球の奥深さを学びました。何よりも、地球環境問題を考える上で、地球の真実を知ることの大切さを認識できました。この十五年の間に、環境保全に対する我々国民の意識は格段に高まっています。しかし、今や世界は、人口爆発と資源の不足（地球は有限）に直面し、これがもたらす破局を避けるために、今世紀は現代文明の大転換が求められています。人間の知恵が創り出した現代文明であつてみれば、その同じ知恵で破局を避けることができる筈です。

で地球の今を知ろう！」を開催しました。「触れる地球」とは、京都造形芸術大学の竹村真一教授が、約十年の歳月をかけて開発し、2005年の「愛・地球博」で初見、その後洞爺湖サミット、COP15等で展示講演されたデジタル地球儀です。地球表面は4K液晶画面で、最先端の科学データをリアルタイムで画像として映し出せる電子機器です。また、自分の手で自由に回す

ながの環境パートナーシップ会議 活動記録 (平成25年9～12月)

全体の活動

- ・学習会 11/9
- ・理事会4回(9/5、10/4、11/15、12/9)
- ・信州大学工学部地域環境演習 9/28
- ・環境団体大集合SPチーム会4回(11/5、11/20、11/28、12/10)

チーム毎の活動

- ・光害対策(例会) 4回
- ・水環境保全(例会、自然観察会、視察) 8回
- ・生ごみ減量・再利用(例会、講座、視察 他) 8回
- ・レジ袋使用削減(例会、毎月5日、ノーレジ袋デー他) 15回
- ・市民の森づくり(例会、趣味の林業講座、市民の森の整備 他) 15回
- ・太陽エネルギー普及促進《先進地視察(太田市)、例会、イベント参加他》 10回
- ・子ども環境学習支援(例会) 4回
- ・GLOBE 3回
- ・スキー場跡地の自然復元

《発行》
ながの環境パートナーシップ会議 市民、事業者、行政の協働(パートナーシップ)により環境保全に取り組んでいます。
《編集・事務局》
〒380-8512
長野市大字鶴賀緑町1613
長野市環境政策課内
TEL 026-224-5034
FAX 026-224-5108
E-mail:kankyo@city.nagano.lg.jp
URL http://nagano-ep.net/

《会員募集中》

パートナースhip会議会員数 95名
内団体会員8団体
年會費 500円
《26年1月9日現在》

環境団体大集合!!2014 「つなぐ伝える行動する」

日時 2月23日(日) 13時～16時30分
会場 長野市生涯学習センター 4階学習室
テーマ 地域の課題に「協働」で取り組むために
ワールドカフェ方式で多くの人と繋がってみませんか。

参加団体・参加者募集中

創立十六年目に踏み出した当協会も、啓発活動から実践活動に軸足を移して、低炭素・循環型社会の構築に微力を尽くしたいと思えます。